

企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業(見える化への取組支援)委託

落札者決定基準

1 審査機関

審査及び評価については、公社が設置する「企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業(見える化への取組支援)委託審査委員会」(以下「委員会」という。)において実施する。

2 契約事業者決定基準

(1) 契約事業者の決定方法

審査において次の各要件ア及びイに該当する者のうち、採点された総得点が最も高い者とする。ただし、最高得点者が2社以上あるときは、くじ引きにより事業実施者を決定する。

ア 見積額が契約上限の範囲内であること。

イ 以下の各項目に該当しないこと。

(ア) 評価項目(中項目)に対する採点において、1つ以上「0点」がある場合

(イ) 提出が必須とされた資料が未提出の場合

(ウ) 提出された資料又は様式の内容に虚偽又は捏造が確認された場合

(2) 得点配分

200点を満点とする。

評価項目(大項目)及び配点は、次のとおりとする。

評価項目(大項目)	配点
事業計画、事業体制及び履行能力	125
脱炭素化支援等	75

(3) 審査及び採点

ア 審査は、委員会の各委員の総意をもって決する。

イ 各委員の審査の得点の上限は200点として、別紙「評価項目、評価の観点及び配点」に応じ得点を付与する。

ウ 各委員は、提案者によるプレゼンテーション、委員による審議及び必要に応じ提案内容に関するヒアリングを実施した上で、採点を行うものとする。

エ 各委員が採点した得点を合算したものを合計点とし、合計点が最も高い者を事業実施者として選定する。なお、事業者の決定が取り消された場合には、点数が次に高い提案者を事業実施者とする。

オ 委員長が必要と判断した場合は、審査の結果等について委員会の各委員と協議を行い、アからエまでに定める採点方法等について変更することができる。

3 評価基準

別紙「評価項目、評価の観点及び配点」の(1)から(5)について、委員会の各委員が次の6段階で評価する。

段階	内容	評点
A	優れている提案(記載)があり、具体性や根拠が十分にある	1.0×各評価項目配点
B	やや優れている提案(記載)があり、具体性や根拠がある	0.8×各評価項目配点
C	普通の提案	0.6×各評価項目配点
D	提案(記載)はあるがやや趣旨に合わない、または具体性や根拠が乏しい	0.4×各評価項目配点
E	提案(記載)はあるが、趣旨に合わない、または具体性や根拠がない	0.2×各評価項目配点
F	提案(記載)なし	0

企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業(見える化への取組支援)委託
評価項目、評価の観点及び配点

評価項目 (大項目)	評価項目 (中項目)	No	評価の観点	配点
事業計画、実施体制及び履行能力	1 事業の企画等業務			
	(1) 事業の企画及び実施計画書の作成	1	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業の目的を理解し、実施期間や予算を考慮したうえで、支援対象中小企業への支援を通じ、本事業の目的を達成できる計画になっているか。 ✓ 計画に適切なマイルストーンや KPI が設定されているか。 ✓ CO₂ 可視化システム等導入、人材育成、取組提案にいたるフローが明確になっているか。 ✓ 支援対象中小企業300社の達成に向けた取組みについて次のことが明示され、妥当性及び実現性が見込まれるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組みに対する具体性、実現性、独自性、効果的な仕掛けや工夫等 ・ 取組みの実施時期、回数等 ・ 各取組みから得られる見込み集客数 	40
	(2) 責任者の設置	2	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 過去に国や自治体等から同様又は類似の事業運営を受託した実績があり、集客に係る取組み及び各支援の実行に当たって、関係各所との連絡、連携、調整等を通し確実かつ円滑に事業を遂行できるか。 ✓ 当初の計画に対し実績が遅延した場合のリカバリープラン(実施体制、発動条件、取組み等)が示され、妥当性があるか。 	40
	(3) 事務局の設置	3	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事務局に配置される人員のポジション、経歴、所属部門、人数は事業運営を行ううえで妥当であるか。 	20
	(4) 事業ウェブサイトの開設及び運営	4	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 集客や事業 PR に効果的なウェブサイトを構築可能か。 ✓ ウェブサイト閲覧者を支援申込へ繋げられるレイアウト、デザイン等となっているか。 ✓ ウェブサイトの分析について具体的な手法・内容が明示され、適宜改善を行うことができる体制を検討しているか。 	10
	(5) 事業リーフレットの作成	5	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 集客や事業 PR に効果的なリーフレットを作成可能か。 ✓ 支援申込へ繋げられるレイアウト、デザイン等となっているか。 	10
(6) 関連事業の周知	6	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業の脱炭素経営に向けた計画策定支援事業(SBT 認定の取得支援)に関する事業周知方法を検討しているか。 	5	

脱炭素化支援等	2 都内中小企業の脱炭素化支援			
	ア. システム等を活用した CO2 排出量可視化支援	7	<ul style="list-style-type: none"> ✓ それらの特長(機能、独自性、ユーザビリティ等)が支援対象者にわかりやすく案内できる工夫等が示されているか。 ✓ 支援対象者がシステム等の活用を体験できるなど可視化の意義に対する理解促進の工夫が示されているか。 	30
	イ. CO2 排出量の算出・可視化等に関する人材育成支援	8	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研修等の内容は、可視化の方法や可視化数値活用の方法が十分に学べるものか。 ✓ 研修等の受講者へのフォロー(質問への対応等)が可能か。 ✓ 研修等の受講者にとって、受講がしやすい工夫が示されているか。 	20
	ウ. CO2 排出量削減に向けた具体的な取組提案の支援	9	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CO2 排出量削減に向けた提案事例が示されているか。 ✓ 提案内容は具体的、実践的かつ効果が見込まれるものか。 ✓ 提案内容は脱炭素化等に関する知見が十分でない者にとっても分かりやすいものになっているか。 	20
3 アンケート	10	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アンケート項目は、支援に対する具体的な改善点やニーズを把握できるものになっているか。 ✓ 回収率を上げるための工夫が示されているか。 ✓ 回答しやすいように工夫がされているか。 	5	